

事業所名

smile

支援プログラム

作成日

2025

年

1

月

10

日

法人（事業所）理念		キリスト教精神に則り、隣人愛を持って社会に参加する。 4つのスローガン①保護者との信頼関係②施設の透明性③利用者の人権を尊重④笑顔の絶えない施設。											
支援方針		「誰もが安心できる居場所をつくり、一人ひとりに合った生活スキルの獲得、常に笑顔でいられる支援」 ・利用する方や保護者が安心・安全、楽しいと感じられるような支援。 ・様々な体験を通して、楽しく経験することができる支援。 ・集団への参加スキルや個々のスキルを伸ばし、18歳以降の進路に円滑に以降できる支援。 ・自分らしく生き生きと楽しみ、自己決定・自己選択を尊重できるような支援。											
営業時間		10	時	00	分から	16	時	00	分まで	送迎実施の有無	あり	なし	（土曜日は送迎無し）
支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	・健康状態の把握 ・構造化によって生活環境を整える(持ち物の片付け・部屋の清掃) ・身辺自立(生活に必要な基本的技能を獲得できるように支援する)											
	運動・感覚	・日常生活に必要な移動能力向上のための支援(ラジオ体操、トランポリン、固定遊具、散歩、バランスボール) ・遊び等を通して、視覚・聴覚・触覚等の感覚を十分に活用できる支援(砂遊び、水遊び、リトミック、楽器遊び、音楽鑑賞)											
	認知・行動	・行動につながる認知過程の発達を支援する(概念の形成) ・タイムタイマーを活用して時間を守る ・個別学習(数量、大小、色、形、重さ等の概念習得のための支援) ・集合の合図と並んで歩く練習 ・宿題支援(読み言葉・書き言葉、日付の確認、時間) ・物へのこだわり等に対する支援											
	言語 コミュニケーション	・言語の習得、自発的な発声を促す支援 ・コミュニケーション能力向上のための支援(STの専門指導を含む) ・絵カード、指差し、身振り手振り、マカトン法等のサインを用いて意思伝達ができる支援 ・障がいの特性に応じた、読み書き能力向上のための支援											
	人間関係 社会性	・周囲の人(友達)と安定した関係を形成するための支援(物の貸し借り等) ・指導員が介入しながら、集団活動を支援する(ルール遊びへと発展させる) ・遊びなどを通して友達の動きを模倣することができるようになる支援(対人関係の芽生えにつなげる) ・お当番 ・朝と夕方の集会 ・車内のルールを守る											
家族支援		連絡帳や送迎等にsmileの様子を伝え、また家での様子等も交えて情報共有をしていく。定期的なモニタリングを行い、課題解決に向けて話し合う。気兼ねなく相談できる場所を確保する。				移行支援		日常的な連携に加え、行事等の際には本人への伝え方など、情報共有を図る。					
地域支援・地域連携		関係機関で役割分担を協議し、共有する。サービス担当者会議を定期的に行い、情報共有を行う。				職員の質の向上		・価値観の確認と実践。・各委員会の目的と実施。 ・職員研修(支援特性の向上、ホスピタリティの向上)					
主な行事等		・土曜日・長期休みに、バスを利用して遠足などの課外活動を行う。・10月31日ハロウィン(たじまの杜)・12月家族参加のクリスマス会 ・3月・9月避難訓練・3月卒園遠足											